

災害後の様々な困難を乗り越えることができる地域力の向上：

セーフコミュニティの取組み手法を活用する

ー 故レイフ・スヴァンストローム教授（1943-2023）を追悼してー

チョ・ジュンピル M.D.

アジュ大学医学部名誉教授

全北道 群山医療院 CEO

jpcho6007@gmail.com



平成19年9月21日及び22日、
亀岡市は WHO(世界保健機関) セーフコミュニティ認証のための
現地審査を受けました。



自然災害後のコミュニティの復元力の強化：

セーフコミュニティを戦略に活用する

ー 故レイフ・スヴァンストローム教授（1943-2023）を追悼してー

トピック

✓ セーフコミュニティ

✓ セーフコミュニティはどのように困難を乗り越える力
（レジリエンス）を高めるか？



セーフコミュニティ

セーフコミュニティとは すべての年齢層、性別、地域を対象とし、安全促進、傷害、暴力、自殺の防止、自然災害による影響（人身傷害）の防止に取り組む自治体、郡、市、または市の地区であり、**認証されたプログラムの国際的なネットワーク**の一部である。

スウェーデンのファルシェーピング

- セーフコミュニティ 第一号
- WHO地域安全推進協力センター
- カロリンスカ研究所内



ファルシェーピングモデル

-スウェーデン 1970年代後半

- 地域レベルでの介入
 - 部門間の協働
 - 包括的取組
 - あらゆる年齢
 - あらゆる性別
 - あらゆる環境
 - あらゆる状況
- 合意形成におけるボトムアップの手法

ファルシェーピングモデルから学ぶこと

• 8つのステップ (=公衆衛アプローチ)

1. 疫学的マッピング（外傷サーベイランス）
2. ハイリスク集団・環境の把握
3. 多領域にわたる問題を解決するための集団、取組の参考にする組織の設置
4. 共同で取組みを企画
5. 介入（取組の実践）
6. 評価（ふりかえる）
7. 軌道修正
8. 取組への反映

ファルシェーピングモデルから学ぶこと

• 8つのステップ (=公衆衛アプローチ)

1. 疫学的マッピング（外傷サーベイランス）
2. ハイリスク集団・環境の把握
3. 多領域にわたる問題を解決するための集団、取組の参考にする組織の設置
4. 共同で取組みを企画
5. 介入（取組の実践）
6. 評価（ふりかえる）
7. 軌道修正
8. 取組への反映

ファルシェーピングモデルから学ぶこと

- 公衆衛生アプローチ



Level	Sector	Safety Promotion
International	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	
National		
Community		
Organization		
Group		
Individual		Safety Promotion done by the individual

個人レベル

Level	Sector	Safety Promotion
International	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	
National		
Community		Safety Promotion at Community Level
Organization		
Group		
Individual		

← 地域レベル

公衆衛生モデルによって、焦点は「個人の行動」から
「集団レベル」の「体系的な環境リスクの軽減」へとシフト

ファルシェーピングモデル

- 1970年代後半（スウェーデン）

- 3年後 （ - レイフ・スヴァンスとローム, 1986）
 - 全受傷率 - 23% 減少
 - 家庭内でのケガ 27%減少
 - 就業中のケガ 28%減少
 - 交通事故によるけが 28%減少
- 1980年代に入り、スウェーデン国内の他の自治体が導入し始める

セーフコミュニティ活動の創始者



スウェーデン、ストックホルム
カロリンスカ研究所（医科大学）
公衆衛生学部 名誉教授

晩年のレイフ・スヴァンストローム教授, M.D., Ph.D.
1943 - 2023

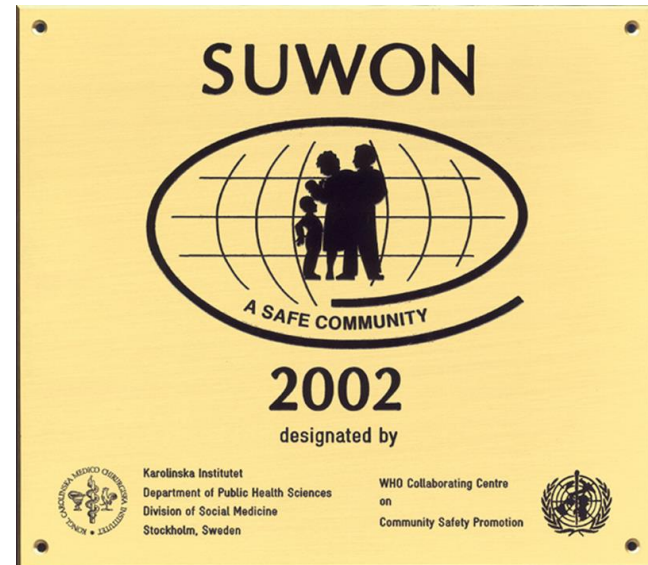
スヴァンストローム先生は、ケガ予防に おける考え方を数多く変えてきた



1. 単にケガの発生ではなく、「何が」ケガの原因かを追究した
2. 対象としたのは、受傷時の行動だけでなく、体系的な原因
3. 単に個々の事例をみるのではなく、集団全体を対象とした
4. ケガ予防という物理的な現象だけでなく、健康、安全、福祉という包括的な社会状況を改善した
5. 条件を整えた実験的な研究より、実社会での対策に取り組んだ
6. 地域は、研究対象ではなく、パートナーであった



レイキャヴィック（アイスランド）
1999年9月



韓国水原（スウォン）市
1999年 SC開始
アジア地域で1番目のSC認証



第1回 アジア地域セーフコミュニティ会議
韓国 スウォン市 2002年

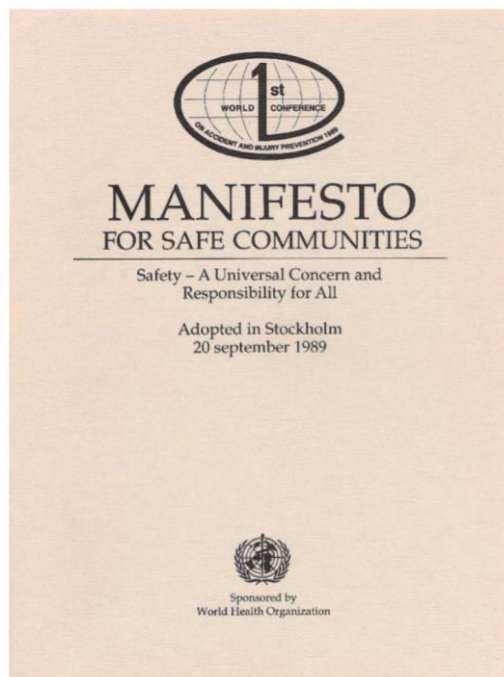


2019年8月
スウェーデンストックホルム



2024年
世界保健機関(WHO)
世界会議(インド デリ)

セーフコミュニティ マニフェスト



WHOは、セーフコミュニティを「地方自治体や地域社会における暴力や傷害を予防するため、証拠に基づく行動を協働で実施するための重要な仕組み」として認識している。

**- 第1回世界事故・傷害予防会議
ストックホルム、スウェーデン、1989年**

セーフコミュニティ マニフェスト

－ 基礎となる柱－

- ・ 全ての人は等しく健康と安全を享受する権利を有する
- ・ ケガを予防するためには、多くの集団・組織の調整によるアクションが求められる
- ・ 健康部門は、ケガに関する人、パターン、原因、リスク条件に関する情報を収集するという重要な役割を担う
- ・ 地域の活動は、あらゆる市民を対象としつつ、最も脆弱な人びとに焦点をあてる
- ・ 安全向上のための取り組みの行程と結果の両方の評価が重要
- ・ 安全なまちづくりに向けては国際的な発展が不可欠

The International Safe Communities Network Designated Members

Norway

Alvdal
Bergen
Fredrikstad
Harstad
Høyanger
Klepp
Kvam
Larvik
Nøtterøy
Os
Rakkestad
Sogn & Fjordane
Re
Sande
Ski
Spydeberg
Stovner
Trondheim
Vågå
Årdal

Sweden

Borås
Falköping
Falun
Lidköping
Ludvika
Mariestad
Motala
Nacka
Skövde
Smedjebacken
Staffanstorps
Tjörn
Töreboda
Uddevalla

Denmark

Horsens

England

Chelmsford

Israel

Raanana

South Africa

Eldorado Park
Broadlands Park

Finland

Hyvinkää

Estonia

Laane
Rapla
Tallinn
Viljandimaa

Germany

Land Brandenburg
Delmenhorst

Austria

Vorarlberg

Poland

Tarnowskie Góry

Serbia

Backi Petrovac
Novi Sad

Czech Republic

Chrudim

Croatia

Kropan

Bosnia and Herzegovina

Konjic

Turkey

Banja Luka

Iran

Abadeh
Andisheh
Arsanjan
Bardaskan
Eghlid
Fairman
Farashband
Kashmar
Kalilabad
Khorrambid
Neyriz
Tehran Metropolitan
Tehran Districts: 1-22

China

Anzhen
Badaguan
Balizhuang
Bansongyuan
Changzheng
Da'nan
Datun
Desheng
Donghuamen
Dongzhimen
Fangsong
Financial Sub-d.
Futian
Honey Lake
Hongqiao
Huaihai
Huaiyin
Huamu

China

Yayuncun
Yinhang
Youth Park
Yuetan
Zhangjiang
Zhanlanlu
Zhanshan
Zhongshan Park
Zhongshan District
Zuoqizhuang
Zhuohailu
Yanjixincun
Xiangang
Xiangheyuan
Xiaoguan
Xigang
Xingong
Xinghaiwan
Xinjiekou
Xinjiangwancheng

Vietnam

Cam Thuy
Da Trach
Dong Tien
Duc Chinh
Hoa Long
Lang Co
Loc Son
Thanh Binh
Truong Lac
Xuan Dinh
Thailand
Wang Sai Phun
Tambon Talad Kreab
Muang Nan

Japan

Atsugi
Kameoka

Australia

Cairns
Casey
Hume City
Latrobe
Mackay
Mawson Lakes
Melbourne
Mount Isa
Noarlunga
Northcott
Palmerston
Springfield Lakes
Townsville
Varsity Lakes
Woodlands

New Zealand

Christchurch

Canada

Brampton
Brockville
Calgary
Wood Buffalo
Rainy River
Sault Ste. Marie
USA
Anchorage
Arlington Heights
Beatrice
Dallas
Doña Ana County
Emory University
Erie County
Fort Worth
Hagerstown
Hammond
Itasca
Lycoming County
Madison, Dane County
Madison County
Murray State University
New Lenox
Norfolk
Omaha
Nebraska Panhandle
Shawnee
Springfield
Sullivan County
University S. California

México

Cuajimalpa de Morelos
Puebla
State of Chiapas
Tuxtla Gutiérrez
Cuautitlán Izcalli

Peru

Bellavista
Jesús María
Miraflores
Pueblo Libre
San Borja

Chile

Peñaflo

33か国441 認証都市

2025年3月現在

国際セーフコミュニティ 認証のための指標

- 指標1:ガバナンス – 分野横断的なアプローチ
- 指標 2: 監視 – 局所傷害データ
- 指標 3: 包括的なプログラム – すべての性別、年齢、環境、状況
- 指標4:脆弱なグループ – リスクの高いグループと環境
- 指標5:評価–エビデンスに基づくプロセスと効果
- 指標6:ネットワーキング–経験の共有



国際セーフコミュニティ公認認証審査員
Lidkoping, Sweden 2014年 リーシェーピング(スウェーデン)

トピック

✓セーフコミュニティ

✓セーフコミュニティはどのように困難を乗り越える力（レジリエンス）を高めるか？

コミュニティ レジリエンス 地域の復元力(困難を乗り越える力)とは?

コミュニティの復元力とは、自然災害、経済的ショック、公衆衛生上の危機、その他の社会的混乱などの有害事象に耐え、適応し、回復するコミュニティの能力です。

それは単に災害を生き延びるだけでなく、より強く立ち直り、将来の課題に備えることです。

コミュニティ レジリエンス 地域の復元力(困難を乗り越える力)とは?

復元力がある地域は、以下のことを行うことができます。

- リスクを予測し、脆弱性を軽減します
(計画やインフラストラクチャなどを通じて)。
- 有事に効果的な対応ができます
(例えば、救急サービスと市民の行動を通じて)。
- 迅速に復旧するとともに将来のリスクを軽減して地域を再構築します。
- 変化する状況(気候変動、人口動態の変化など)に対応して適応し、変革します。

コミュニティ レジリエンス 地域の復元力(困難を乗り越える力)とは?

地域の復元のカギとなる要因:

- ✓ 住民間の強力なネットワークと信頼。
- ✓ 地元のリーダーシップを事前に育成し、関与させる
- ✓ リソース(情報、資金、スキル)へのアクセス。
- ✓ 効果的な通信システム。
- ✓ すべてのコミュニティメンバーが関与する包括的な計画。

なぜセーフコミュニティは問題に取り組むのか？

6つの指標

ガバナンス

根拠に基づく/サーベイランス

包括性

包摂性

継続性/評価とフィードバック

国内外のネットワーク



災害後のコミュニティの復興
力醸成にそのまま適用

セーフコミュニティとしての認証は、
組織や団体といったチームを、
ともに学び・分かち合い・成長するネッ
トワークへとつなげることで
コミュニティにとって大きなモチベーション
になる

災害後の様々な困難を乗り越えることができる地域力の向上：

セーフコミュニティの取り組み手法を活用する

— 故レイフ・スヴァンストローム教授(1943-2023)を追悼して—

ご清聴ありがとうございました!

“私たちの世界を安全でしなやかに困難を乗り越えることができる社会にするため
めにとともに取り組みましょう”